



アメダス

アメダス (AMeDAS) とは「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略で「地域気象観測システム」といいます。

雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的におこない、気象災害の防止・軽減に重要な役割を果たしています。現在、降水量を観測する観測所は全国に約1,300ヶ所あります。このうち、約850か所(約21km間隔)では降水量に加えて、風向・風速、気温、日照時間を観測しているほか、雪の多い地方の約280か所では積雪の深さも観測しています。明星電気は、このアメダスの新タイプ『04型有線ロボット気象計』にも採用され、気象災害の防止・軽減に貢献しています。

明星電気はWMO(World Meteorological Organization)の篤志協力計画に賛同し、ミャンマー気象水文局に自動気象観測装置(AWS)を無償支援提供しています。このような活動を通じ、日本の国際貢献に協力しています。



芦田川河口堰は日本三大河口堰のひとつです。

芦田川河口堰塩分・波浪・気象観測システム

広島県東部を流れ、福山市で海に注ぐ芦田川。その河口に芦田川河口堰があります。長さは450メートルにおよび、海水による塩害を防ぎ、福山市周辺の工場へ工業用水を安定送水しています。

明星の塩分・波浪・気象観測システムは河口堰水門周辺の塩分量を測定しています。塩分濃度に加え、波浪、風向風速、水温、気温、日射、日照、気圧なども測定し、堰コントロール制御設備へデータを伝送しています。



気象庁[緊急地震速報対応] Q CAST®シリーズ

「QCASTシリーズ」は気象庁から配信される「緊急地震速報」を受け、強い揺れが来る前に、推定震度や余裕時間(地震波のS波が到達するまでの推定時間)を算出・表示する装置です。「緊急地震速報」とは、地震発生直後に震源に近い地震観測点で観測された地震波を解析し、大きな揺れが到着する前に震源と地震の規模(マグニチュード)等を伝えるというこれまでにない画期的な情報です。気象庁は新しい地震情報「緊急地震速報」の試験配信を2004年2月より始めました。今後予定される本配信を控え、また、地震防災意識が日々高まる中で、「QCASTシリーズ」は注目度を増しています。

すでに導入して頂いた企業からは「社員への意識啓蒙の効果があった。」「より早く初動態勢がとれるようになった。」「分岐配信している工場では震度5弱で館内放送するように設定しており、人命及び設備保護に役立っている。」と、その効果についての言葉を頂いております。



技術データ取得装置 (TEDA)

「だいち」搭載 技術データ取得装置 (TEDA)

2006年1月24日、午前10時33分に陸域観測衛星「だいち」(ALOS)は、種子島宇宙センターから、H-II Aロケット8号機で打ち上げられました。明星電気が開発に参画した技術データ取得装置 (TEDA) は初期運用を完了した後、正常運用に移行しております。TEDAには、軽粒子 (LPT) 及び重粒子 (HIT) のセンサが搭載され、宇宙放射線観測を行っています。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。